



平成 30 年 6 月 8 日

応用地質株式会社

報 道 関 係 各 位

米国子会社の GSSI 社が自動運转向け地中レーダシステムの開発に協力  
第 16 回 アジア太平洋地域 ITS フォーラムで紹介しました

当社の米国グループ企業であり、GPR（地中レーダ探査装置）の世界トップシェアメーカーである GSSI（Geophysical Survey Systems, Inc.）は、マサチューセッツ工科大学の研究開発機関である MIT Lincoln Laboratory とライセンス契約を締結し、LGPR システム（Localizing Ground Penetrating Radar）の商用プロトタイプを製造・販売いたしております。LGPR は、GPR で作成した表層地盤の 3 次元地図を自動車の自動運転に活用する技術です。

LGPR は、レーダ反射波を用いて地盤の構造的長を読み取り、位置情報を獲得することで自動走行における自己位置の判定（Localizing）を可能にします。MIT Lincoln Laboratory による実証実験では、高速道路や、夜間・積雪などのコンディション下でも数センチ以内の精度で走行位置の判定が可能であることが確認されています。

2018 年 5 月 18 日より福岡市で開催された第 16 回 アジア太平洋地域 ITS フォーラム（※）においても LGPR システムが紹介されました。GSSI の David Cist 研究開発担当副社長が本フォーラムの「自動運転の社会実装と課題」セッションにて実証実験の結果等について講演し、参加者・企業から非常に大きな反響をいただきました。

This product is licensed from the Massachusetts Institute of Technology under U.S. Patent No. 8,949,024 for prototype or demonstration purposes only



アジア太平洋地域 ITS フォーラムにおける GSSI 社の講演の様子

当社グループは中期経営計画「OYO Jump18」の中で、地盤情報技術や ICT の活用により新たな市場や価値の創造をめざしており、今後も様々な異業種との交流の中で、グループの優位技術を活用した新たなサービスやソリューションを生み出してまいります。

※アジア太平洋地域 ITS フォーラムは、高度道路交通システムの最新技術と動向を紹介し、モビリティ社会の発展と新たな価値を創造するための国際フォーラムです。

以上

【本件に関するお問合せ先】

応用地質株式会社 社長室 川地・橋本

TEL : 03-5577-4501

E-mail : [prosight@oyonet.oyo.co.jp](mailto:prosight@oyonet.oyo.co.jp)